

# 平成 28 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市美しが丘地域ケアプラザ

## 2 事業報告概要

### 地域の現状と課題について

- 担当エリアの山内地区は、青葉区内で最も広大で人口が多い地区であり、住民層も新旧混在する地域である。
- 地域住民による福祉保健活動は各拠点で盛んに行われているが、多世代が交流できる機会は多くない。しかし、伝統行事の継承や支え合いの精神は強く持たれており、地域福祉保健計画でも目標に挙げられている。
- 地区が広大なため、3か所の地域ケアプラザが地区担当割をして支援を行っている。
- 当ケアプラザの担当する荏子田地区や美しが丘西地区は、当ケアプラザと距離があるため、地域住民が福祉活動拠点として捉えにくい位置にある。

## 3 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

- 設備、建物の総合巡視点検を専門業者に依頼して実施しています。
- 洗面所からの漏水や浴室リフトの故障等があり、区と調整の上、修繕予定としています。
- 業者による館内の清掃や職員による玄関先、花壇の清掃により、美化が保たれています。また、2ヶ月に1度、ワックスがけを実施しています。

### イ 効率的な運営への取組について

- ケアプラザ内の業務推進のため、研修委員会、安全管理委員会、給食委員会、環境エコ委員会を実施しました。運営、経営の課題については、管理職会議の他、法人全体で連携して取り組んでいくように努めました。
- 環境エコ委員会を中心に、電水光熱費の削減を意識した取り組みを行い、年間を通して職員への意識付を行いました。

### ウ 苦情受付体制について

- ご意見箱を設置しましたが、ご意見はありませんでした。12月に事業毎のアンケートを実施しています。
- 1件の苦情を頂きました。当事者への謝罪と対応に加え、法人に設置されている第三者委員会で内容の分析と再発防止に向けた意見を頂きました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- 館内の日常巡視点検、閉館時の警備会社による機械警備により、防犯対策を行いました。
- 年2回消防訓練や避難訓練を実施しました。避難訓練については、通所介護利用者の避難誘導を行っています。
- 元石川小学校を拠点とした地域の防災訓練に継続的に参加し、地域住民へ特別避難場所の周知や地域の連携に努めました。美しが丘西小学校の防災訓練は開催日がケアプラザ祭と重なり、事前の会議のみ参加しています。

#### オ 事故防止への取組について

- ヒヤリハットや事故については、安全管理委員会で分析し、職員会議での周知を行っています。ヒヤリハット事例を用いた研修を実施しています。
- 通所介護利用時の事故防止のため、部署会議でヒヤリハットや軽微な事故について検討を行っています。また、運転業務での事故防止のために安全運転管理者研修に参加し、その内容を周知しています。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- 個人情報を取り扱う職員対象に個人情報保護に関する研修を行い、注意を喚起、漏洩防止を徹底していきます。
- 個人情報の含まれた書類の取り扱いの留意事項を遵守し、FAXの誤送信、郵送時の誤送付をしないようにダブルチェックや複数での作業を徹底しました。

#### キ 情報公開への取組について

- 事業計画、事業報告等については、誰でも閲覧できるように、ファイリングして窓口に掲載します。また、ホームページにも掲載しました。
- ホームページや広報紙（2ヶ月毎に発行）を活用して、ケアプラザの事業等や必要な情報を発信しました。
- 事業毎のPRは自治会掲示板を活用しました。

#### ク 人権啓発への取組について

- 人権養護等に関するポスターやチラシは来館者へ周知できるよう掲示しました。
- 全体ミーティングで権利擁護、高齢者虐待について研修を行いました。また、法人研修として人権研修を行いました。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

- 来館者には、冷暖房の適正温度への協力、ゴミの持ち帰りの協力を呼びかけ、環境への配慮を行いました。
- 節電・節水をこまめに行うとともに、コピー用紙の裏面使用の励行、資源ごみの分別収集を徹底しました。
- グリーンカーテンの実施より、冷房効率を上げることや緑化の推進に繋がりました。

## 4 介護保険事業

### (1) 介護予防支援事業

#### 《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）

看護師 1名（常勤兼務）

介護支援専門員 2名（常勤兼務1名・非常勤兼務1名）

社会福祉士 1名（常勤兼務）

#### 《目標》

○研修会、勉強会に参加し「介護予防・日常生活支援総合事業」の理解を深めることができました。

○利用者や家族の話を傾聴することでその人独自の強みを理解し、実現可能なケアプランの作成に取り組みました。

○ケアプランにできるだけセルフケアやインフォーマルサービスを位置づけるよう取り組みました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

○委託の場合、契約や担当者会議には可能な限り出席しました。

#### 《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
116	125	121	122	121	124
10月	11月	12月	1月	2月	3月
129	125	125	129	131	132

(2) 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（介護支援専門員）	常勤専従	1名
介護支援専門員	常勤専従	1名
	常勤兼務	1名
	非常勤専従	1名

《目標》

- 各自内部・外部研修、青葉区ケアマネジャー連絡会等に参加しスキルアップに努めました。
- 月2回程度居宅介護支援事業の内部会議を行い、事例検討や業務の振り返りを行いました。
- 業務の達成状況について上・下半期各1回ずつ自己評価シートで評価を行いました。
- 支援困難ケースについて行政や包括、その他関係機関との連携を図り支援を行いました。
- 今年度は独自の取り組みとして、外出ドライブを3回(4・11・1月)実施しました。各3～4名の参加でしたが、普段外出できない場所へ外出できたとの感想をいただき好評でした。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 24時間緊急相談対応を行いました。4件の連絡がありましたが緊急対応が必要な相談は0件でした。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
92	90	90	91	91	93
10月	11月	12月	1月	2月	3月
87	97	97	97	96	93

(3) 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴及び食事の提供（これらに伴う介護を含む）、生活等に関する相談・助言、健康状態の確認、その他利用者に必要な日常生活上の援助並びに機能訓練を行う
- 送迎サービス

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分 (9:30~13:30↓)
 

(要介護1)	704円	408円
(要介護2)	831円	468円
(要介護3)	963円	529円
(要介護4)	1095円	588円
(要介護5)	1227円	649円
- 食費負担（昼食 750円、おやつ 50円） 800円
- 入浴介助加算 54円
- サービス提供体制強化加算Ⅰ 13円
- 介護職員処遇改善加算Ⅰ 所定単位数の4.0%

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:30~13:30 / 9:30~16:35

《職員体制》

- ・ 管理者 常勤兼務 1名
- ・ 生活相談員 常勤 2名 嘱託 1名
- ・ 介護職員 常勤兼務 2名 嘱託兼務 1名 非常勤兼務 11名
- ・ 看護師 非常勤兼務 3名
- ・ 栄養士 常勤兼務 1名
- ・ 調理員 常勤専従 1名 非常勤専従 6名

《目標》

- ・ ご利用者、ご家族、地域に安心・信頼される充実したサービスを目指します。
- ・ 関係機関との連携を図り、顔の見える関係作りに努めます。
- ・ 職員一人一人が専門職としてのプロ意識を高く持ち、業務を担っていきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 選択食制の実施。Aランチ、Bランチを来所時に利用者を選択して提供。また、季節に合わせて行事食(お花見膳、敬老お祝い膳、鍋物)等を提供します。
- ・ 利用者家族に見学兼ねて食事会、フワアレンジメント活動への参加を促し実施します。
- ・ 個別に合わせた活動を提供します。【囲碁・将棋・水墨画・書道・小物作り・手芸等】

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
585	642	630	603	606	605
10月	11月	12月	1月	2月	3月
604	591	551	538	541	584

(4) 介護予防通所介護事業・総合事業

《提供するサービス内容》

- 入浴及び食事の提供（これらに伴う介護を含む）、生活等に関する相談・助言、健康状態の確認、その他利用者に必要な日常生活上の援助並びに機能訓練を行う
- 送迎サービス

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - （要支援1） 1766円
  - （要支援2） 3621円
- 食費負担（昼食750円、おやつ50円） 800円
- サービス提供体制強化加算Ⅰ口 要支援1 51円 要支援2 103円
- 介護職員処遇改善加算Ⅰ 所定単位数の1.9%

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:30～13:30 / 9:30～16:35

《職員体制》

- ・管理者 常勤兼務 1名
- ・生活相談員 常勤2名 嘱託1名
- ・介護職員 常勤兼務2名 嘱託兼務1名 非常勤兼務11名
- ・看護師 非常勤兼務3名
- ・栄養士 常勤兼務1名
- ・調理員 常勤専従1名 非常勤専従6名

《目標》

- ・ご利用者、ご家族、地域に安心・信頼される充実したサービスを目指します。
- ・関係機関との連携を図り、顔の見える関係作りに努めます。
- ・職員一人一人が専門職としてのプロ意識を高く持ち、業務を担っていきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・選択食制の実施。Aランチ、Bランチを来所時に利用者を選択して提供。また、季節に合わせて行事食(お花見膳、敬老お祝い膳、鍋物)等を提供します。
- ・利用者家族に見学兼ねて食事会、フラワーアレンジメント活動への参加を促し実施します。
- ・個別に合わせた活動を提供します。【囲碁・将棋・水墨画・書道・小物作り・手芸等】

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
26	25	26	26	29	24
10月	11月	12月	1月	2月	3月
21	20	16	16	19	16

## 5 地域ケアプラザ

### ア 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

- 地域住民の総合相談窓口として、ケアプラザが地域住民に認知されるよう、自主事業の開催時や地域の老人会、サロン等で広報を行ってきました。
- 介護に関わる相談件数が顕著で、介護予防に関する体操教室や関連した事業への関心も高く、包括支援センターでの対応や事業の紹介へつないでいます。
- 子ども・子育て支援に関する相談は、深刻な相談はないものの、子育て中の居場所についての確認、地域の子ども会から実施するプログラム内容について相談がありました。
- 障害分野に関する相談は実数ありませんでした。

### イ 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

- 毎月1回、地域包括支援センター職員、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターの5職種が、自主企画事業の協働、個別ケース課題等について検討する機会を持っています。また、各職種が関わる会議や研修等の報告も行き、互いの機能を活かした連携体制を構築してきました。
- 包括職員と生活支援コーディネーターが取り組む地域診断シートの作成や次年度に展開を図っている「認知症カフェ」開催までの講座に参画するなど関係強化を図りました。

### ウ 職員体制・育成

- 資格要件のある職種では、専門職の配置を遵守し、欠員はありませんでした。しかし、生活支援コーディネーターの配置は、7月となってしまいました。
- 通所介護事業では、介護福祉士等の取得率を上げることができました。
- 研修計画に基づき、全体研修と内部研修の調整を図りながら実施しました。
- 常勤、非常勤を問わず、全職員が外部研修、内部研修に参加できるように時間外手当、交通費、参加費の支給を行っています。

### エ 地域福祉のネットワーク構築

- 当ケアプラザが担当する山内地区は広大であるため、単位自治会（小地区）での取り組みに対しての支援を積極的に行いました。
- 自治会からの相談および会議の出席要請に応えるほか、子ども会からの相談対応など地域活動を支援し、ネットワーク構築に寄与しました。
- 当ケアプラザ近隣の子育て支援拠点の活動団体にお集まりいただき子育て拠点ネットワーク会議を青葉区および地域子育て支援拠点とともに実施しました。子育て支援拠点3か所と関係する機関を交えた会議は、支援団体の横のつながり強化を意識して、互いの活動内容を紹介するなど情報交換していただきました。

### オ 区行政との協働

- ケアプラザの取り組みには、区等の助言を得ながら、第3期青葉区地域福祉保健計画を意識して実施してきました。
- 包括カンファレンスや町づくりセミナーには、区の地区担当職員や区社協職員のサポートを得ながら実施することができました。
- フラワーネックレスにも賛同し、緑化事業を行っています。
- ボランティアセンター発信の子ども食堂に協力し、次年度以降実施することとなっています。

## 6 地域活動交流部門

### ア 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ケアプラザ館内外の掲示板や壁面を活用して、福祉保健に関する情報提供を行いました。なかでも来館者に好評だったのは、貸部屋利用団体の紹介パネルや当ケアプラザの自主事業の掲示チラシで、訪れた地域住民がパネルや掲示チラシをみて、ケアプラザ職員にお問い合わせされることが多くありました。
- ケアプラザを訪れなくてもどのような活動があるか知っていただくために、広報紙を年6回（偶数月）発行して近隣地域に回覧依頼を行い、ホームページやブログを活用し、事業案内をはじめ行った事業の様子を画像や動画を載せながら、ケアプラザの機能を紹介しました。

### イ 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 当ケアプラザの貸し部屋については、地域住民同士が快適にご利用いただけるよう稼働状況（空部屋・時間帯など）の情報提供を行いながら、可能な限り利用団体からの要望に応えました。
- 平成29年度から貸部屋利用ルールの変更に伴い、12月に貸部屋利用団体を対象に説明会を実施し、団体同士の交流機会を提供するとともに、ケアプラザに対してのご意見を伺う機会を持つことができました。

### ウ 自主企画事業

- 高齢者支援事業については、地域のご高齢の方の健康意識が高いこともあり、介護（認知症）予防と趣味的活動を融合させた取り組みを行いました。なかでも歌会を開催した折には、毎月定期開催で60名近くの参加があり、歌会参加を通じて他の事業に関心を寄せる傾向もみられ、ケアプラザに通っていただく機会を多く持っていただきました。
- こども・子育て世帯向けの事業に関しては、乳幼児とその保護者を対象にした親子体操の要望が高いため、年間を通じて定期開催して、常に定員を満たす状況でした。一方で、土日祝日に開催した赤ちゃんや小学生を対象にした単発開催事業では、参加者数が定員を満たすことが少なく、地域の子育て世帯の取り巻く環境（休日に家族で外出されたり、お子さんの習い事などで多忙といった状況）を推測しています。
- ケアプラザから離れた担当する単位自治会域においては、新たに子育てサロンの設立に寄与することができました。
- 障害支援については、具体的な支援を実施するに至らず、過去に障がい児余暇支援事業を開催して参加者が減少した経緯があったため、あらためてニーズを検証するの必要を感じています。
- 地域交流事業においては、多種多様な内容で開催し、ご参加いただいた地域住民より高評価をいただきました。料理教室やカフェコンサートなど地域住民同士の交流に寄与することができました。



## エ ボランティアの育成及びコーディネート

- 平成 28 年度に当ケアプラザデイサービスを活動先にしていただいたボランティア 32 名の平均年齢が 75 歳に達し、日々のボランティア活動にやりがいを感じていただけるよう支援を行いました。ボランティアの高齢化を課題として捉えるのではなく、いきいきと活動していただく場の提供として、シニアボランティアポイントの活用や地域活動への参加を誘導しました。
- ボランティアグループの支援に至っては、楽器演奏グループには区内の出張演奏で活躍していただくため、スケジュール調整を行いました。
- 貸部屋を利用されているボランティアグループへの後方支援も行いながら、円滑に運営されるよう、密に関わりをもって対応しました。
- 次世代の関わりを求めて、学生ボランティアサークルに事業協力を呼びかけ、活動の調整を行いました。

## 7 地域包括支援センター

### (1) 総合相談・支援

#### ア 総合相談

- 相談にあたっては、地域交流部門や生活支援コーディネーターとも連携し介護保険サービスだけではなくケースに合わせた幅広い情報提供を行ないました。急な相談にも対応できるよう事務所待機職員を配置し、初回相談担当者以外でも相談票、支援経過記録の情報を共有し、いつでも対応できる体制で相談にあたりました。
- 緊急を要するケースについては区・医療機関・ケアマネジャー・サービス事業所等と連携をとり、速やかな調整を行ないました。
- 多課題のあるケースについては、ケアマネジャーに支援を依頼した後も包括支援センターとして支援の役割を分担し、継続支援にあたりました。
- 見守りが必要なケース、サービスに繋がっていないケースについて民生委員を通じての相談を頂き、同行訪問など協力体制をもって支援にあたる事が出来ました。
- 地域の集いやケアプラザの事業などに参加し、地域の身近な保健福祉の相談窓口としての機能の周知を行ないました。

#### イ 地域包括支援ネットワークの構築

- 認知症の方とその家族が安心して暮らせるまちづくりを目指して1年を通じて展開した「まちづくり大作戦」では地域の有志の方との話し合いを通じ、来年度に繋がる取組みが生まれました。
- 地域ケア会議では地域の保健福祉関係者とのネットワークを強めることが出来ました。ネットワークの中に地域住民の方々をいかに巻き込んでいくかが今後の課題となっています。
- 地域交流や生活支援コーディネーターとの連携の中で、ボランティア人材の発掘、地域での活動に繋ぐ取り組みを行いました。

#### ウ 実態把握

- 民児協定例会には4職種で当番制を取り、毎回必ず出席し地域の情報の聞き取りを行ないました（生活支援コーディネーターは、時間帯が区の連絡会と重なるために不参加）。
- 地域のサロンや老人会などでアウトリーチを行ない、地域の実情の把握に努めました。

## (2) 権利擁護

### ア 権利擁護

- 成年後見制度や消費者被害に関する相談には、資料などを用いてわかりやすい説明を行なうよう努めてきました。
- 成年後見制度の講座を開催。行政書士を講師に地域の方に分かりやすい落語仕立ての内容で、制度についての理解を深めていただくことが出来ました。
- 親族の連絡先が分からない独居の認知症の方については、早期より区と連携を取り支援の方向性について協議し、後見人申立の準備を少しずつ進めていくことが出来ました。

### イ 高齢者虐待

- 今年度新規の相談は5件。相談内容から虐待の可能性があると思われた時点で、グレーケースであっても区に報告を行なってきました。
- 地域のサロンにて「高齢者虐待防止」の講座を開催。早期の気づきの大切さと相談窓口の周知を行ないました。
- 介護者の集いや認知症カフェでは、介護者の方がリフレッシュできる時間となることを心がけました。また介護者の方の声に耳を傾けると共に、必要な知識・情報の提供を行ない、心身共の介護負担の軽減からの虐待予防に取り組みました。

### ウ 認知症

- エリアの特養と共催での認知症カフェ「おれんじ倶楽部」を月1回開催。回を重ねる毎に参加者も増え、定期的に参加されていた認知症のご本人、ご家族も楽しみにして頂ける場となっていた。
- 認知症サポーター養成講座を今年度は3回開催（地域住民向け・郵便局職員対象・エリアのデイケア職員対象）し、計79名のサポーターが誕生しました。
- 認知症の方とその家族が安心して暮らせるまちづくりを目指した「まちづくり大作戦」では、全8回の講座を通じて「認知症」について地域の方と共に考え、具体的な取り組みに向けての支援のきっかけを作ることが出来ました。
- 医療に繋がっていない認知症が疑われる方について、区と連携し「認知症初期集中支援チーム」の支援に繋ぐことが出来ました。

## (3) 介護予防マネジメント

### ア 介護予防ケアマネジメント力

- 利用者や家族の話を傾聴することでその人独自の強みを理解し、実現可能なケアプランの作成に取り組みました。
- ケアプランにできるだけセルフケアやインフォーマルサービスを位置づけるよう取り組みました。
- 介護予防従事者研修を青葉区の包括支援センターと一緒に開催し、委託事業所ケアマネジャーとの信頼関係を強め、包括、居宅ともにスキルアップを目指しました。

#### (4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

##### ア 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 自治会や老人会、民生委員定例会等に積極的参加し、包括支援センターの役割や介護保険制度についての情報提供を行ってきました。民生委員からの情報提供で、相談に繋がるケースが増えています。
- 包括カンファレンスの場を利用し、民生委員やケアマネジャー、他の介護支援事業所と、緊急時の対応をテーマに情報交換を行い、お互いに協力出来る関係作りを行っています。
- 民生委員や福祉保健団体やボランティア団体の会議等に参加してきました。また、クリニック、サービス事業所等を個別に訪問し、必要に応じて関係機関や住民に情報提供する事が出来るように、地域の情報を収集し、ケアマネや地域住民からの問い合わせに対応しました。
- 小さなエリア毎に住民や関係機関と困難事例や支援状況等の情報を共有し、連携が取れる関係作りを行いました。また、地域住民の特徴や課題等を再発見する事ができました。

##### イ 医療・介護の連携推進支援

- 連絡会等を利用し、ケアマネジャーと地域医療機関等との顔合わせや情報交換・意見交換を行いました。医療職から見たケアマネジャーの課題等が確認出来ました。
- 包括カンファレンスでは、緊急時対応の医療連携をテーマに薬剤師や訪問看護師とお互いの役割と協力体制についての意見交換を行っています。
- 区内包括支援センターと協力して行った各介護サービス事業所・医師・歯科医師の連携を目的とした意見交換会では、理学療法士から介護予防の視点から見たリハビリについて等、参考となる意見を貰える事ができました。
- 地域のクリニック等の医療関係機関を訪問し、顔の見える関係作りを行ってきました。
- 医療に繋がらない方や認知症独居の方等の相談を行い、介護保険に繋げる事ができました。また、クリニックより相談の連絡が入る関係ができました。
- 在宅医療連携拠点と連携し、事例検討会や多職種連携、講演会、研修会の開催等、地域のケアマネジャー宛てに広報等の協力を行っています。

##### ウ ケアマネジャー支援

- ケアマネジャーが相談しやすい体制を作る為 事業所を訪問している。ケアマネジャーからの相談は、包括三職種が協力し対応している。地域の情報や介護保険外のサービス等、気軽に連絡出来る関係を築いている。
- 支援困難事例に対し、必要に応じて同行訪問や区・多職種・多機関と連携し、地域ケア会議等を開催し、ケアマネジャーを支援いたしました。多職種・多機関と連携が取れた事により、困難事例の解決に向けて動く事が出来ました。
- サービス担当者会議開催場所の提供や会議への参加、事前準備への助言などにより、担当者会議の開催を支援しました。ケアプラザを会議の場として利用する事で、参加者が集まりやすくなっています。
- 包括カンファレンスを集いの場とし、情報や意見交換・勉強会・事例検討会を組み合わせ、連携の推進とスキルアップ研修の場として提供しました。28年度は、ケアマネジャーとしてのリスクマネジメント等、介護保険制度以外の内容も多く企画しました。
- 青葉区ケアマネジャー連絡会に出席し、運営をサポート致しました。また 業務に役立てて頂く為 他の事業所連絡会からの情報を、地域のケアマネジャーへ提供しました。

- 元気づくりステーション等の介護予防を含むインフォーマルサービスの情報を収集し、自立支援に資するケアマネジメントが実施出来るように、ニーズに合わせ、随時提供出来るように情報を整理しました。また 包括カンファレンスで、広報を行いました。
- 新任・就労予定ケアマネジャーに対する研修等を、青葉区内包括支援センター主任ケアマネジャーと協力して行ってきました。研修終了後も継続して相談を受け、支援を続けました。

#### エ 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- 個別ケース地域ケア会議を開催し、個別支援の充実、参加者の質の向上、関係職種の連携促進に取り組みました。地域ケア会議を開催する事で、関係職種の連携が取れ、同じ様なケースでの対応がスムーズに行う事が出来るようになりました。
- 地域ケアプラがつなぎ役となり、区役所や社会福祉協議会、民生・児童委員、医療機関や介護サービス事業所等がお互いの役割や立場を理解し、分野別のネットワークが構築できるように関わりを持ちました。
- 配食サービスや商店、郵便局、警察署、消防署と協力し、地域を支えるネットワークを構築できるよう、ケアプラザ（包括支援センター）をPRしました。
- ケアマネジャーから、地域に必要な資源・サービスについて意見を聞き、地域エリア会議等で地域住民の協力を得ながら地域のネットワーク作りを行いました。

### (5) 介護予防事業

#### ア 介護予防事業

- コグニサイズを主とした介護予防の講座を全 8 回開催し認知症予防とロコモ予防に取り組みました。併せて口腔ケアの講座と栄養の講座も開催し、延べ 128 名の参加がありました。
- 「認知症の基礎知識と予防」をテーマに認知症の専門医を講師に招き、認知症予防の勉強会を実施し 46 名の参加がありました。
- 美しが丘西 1, 2 丁目エリアにて「うたごえサロン」をボランティアが自主運営できるよう支援できました。
- 元石川町、荇子田エリアにおいて元気づくりステーション「けんこう太極拳教室」の世話人について話し合いを行い、新しい代表者への移行ができました。また、太極拳教室の内容について参加者同士が教え合いたいという気持ちも芽生えてきており元気づくりステーションとしての意識が高まりつつあります。
- 保木けんこう太極拳教室を元気づくりステーションとしての活動に移行することができました。世話役や係などを決め円滑に運営できるよう支援ができました。

### (6) 生活支援体制整備事業

#### ア 実施したこと

- 7 月よりコーディネーターを配置し、地域活動（サロンや体操教室、様々な活動）や地域の会合（会議や委員会など）に参加し、ご挨拶と関係づくりに努めました。その中で、生活支援体制整備事業の周知をするとともに今後、ご意見を頂けるように協力を依頼することができました。
- サービスリストの作成については、地域のサロンや活動、ケアプラザの貸館で来訪されている活動団体などの把握や民間企業や公共施設、福祉関係事業所などを中心にリストとしてエリア内の分かる範囲で取りまとめることができました。
- 地域課題・ニーズ把握については、ケアプラザ職員間の情報交換や、サロンや活動

中に地域住民から直接聞いた話、実際に感じたこと、知ったこと、気付いたことなどを記録として残している。また、区社協と地域のデータ（地域ごとの高齢者率などの）を共有し、体制整備事業の推進に活かしてきました。

○事業の企画、運営や定期的な会議を通して、ケアプラザ内5職種との連携を強化しています。

○地域アセスメントや事業の企画等については、必要に応じて近隣のケアプラザと協働して実施しています。

## 8 その他


# 平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 横浜市美しが丘地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日  
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	17,178	21,050	149					5,789
	介護保険収入				7,477	15,552	71,895	7,055	
	その他								
	介護予防ケアマネジメント費								
	<b>収入合計(A)</b>	<b>17,178</b>	<b>21,050</b>	<b>149</b>	<b>7,477</b>	<b>15,552</b>	<b>71,895</b>	<b>7,055</b>	<b>5,789</b>
支出	人件費	10,453	19,622			13,339	52,005		3,759
	事務費	662	509		4,379	765	5,118		
	事業費	330	24	149	919	627	8,430		38
	管理費	5,734	1,524				6,369		
	その他	262	555						
	施設使用料相当額								
	消費税	836							
	返却額	361	201						1,366
	<b>支出合計(B)</b>	<b>18,638</b>	<b>22,435</b>	<b>149</b>	<b>5,298</b>	<b>14,731</b>	<b>71,922</b>		<b>5,163</b>
	<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>-1,460</b>	<b>-1,385</b>	<b>0</b>	<b>2,179</b>	<b>821</b>	<b>-27</b>	<b>7,055</b>	<b>626</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

# 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
歌謡の会	高齢者	¥50,000	¥50,000	¥0	¥50,000	¥0	¥0
	551名						
	なし						
いぶき書写の会	高齢者	¥55,000	¥17,500	¥37,500	¥55,000	¥0	¥0
	416名						
	1回100円						
楽画記帳	高齢者	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	91名						
	なし						
音にふれて楽しむ 大人の ミュージックセラピー	高齢者	¥28,000	¥28,000	¥0	¥28,000	¥0	¥0
	73名						
	なし						
声に出して読みたい本講座	高齢者	¥9,104	¥9,104	¥0	¥0	¥0	¥9,104
	52名						
	なし						
大場・美しが丘・たまプラー ザCP・区社協・山内地区セン ター共催事業 昔あそびで脳活！	高齢者	¥10,800	¥0	¥13,800	¥0	¥0	¥10,800
	54名						
	300円						
親子で3B体操	子育て世帯	¥124,100	¥0	¥128,400	¥105,000	¥0	¥19,100
	630名						
	1回300円						
親子ひろば&ベビーマッ サージ	子育て世帯	¥15,000	¥15,000	¥0	¥15,000	¥0	¥0
	26名						
	なし						
親子で水あそび	子育て世帯	¥3,707	¥3,707	¥0	¥0	¥0	¥3,707
	33名						
	なし						
親子で参加！ 記念日プレゼ ント作り	子育て世帯	¥30,500	¥16,500	¥14,000	¥15,000	¥15,500	¥0
	41名						
	1回500円～1,000円						
親子料理教室	子育て世帯	¥22,000	¥11,000	¥11,000	¥10,000	¥12,000	¥0
	34名						
	1回1,000円						
田園調布学園大学 主催 第 12回子どもが作る町 ミニた まゆり2017	地域のこども	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	300名						
	なし						
子育て山内ひろば出張カフェ	子育て中のママ	¥1,401	¥0	¥4,000	¥0	¥1,401	¥0
	40名						
	1回100円						
陽だまりカフェコンサート	地域住民	¥120,377	¥76,177	¥44,200	¥70,000	¥50,377	¥0
	183名						
	1回300円						
	地域住民						

## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
美しき丘アフタヌーンコンサート	59名	¥5,000	¥5,000	¥0	¥5,000	¥0	¥0
	なし						
Buon Viaggio(ブオン ヴィアッ ジオ) 料理で旅するイタリア～ロー マ・フィレンツェ・ミラノ	地域住民	¥123,000	¥48,000	¥75,000	¥45,000	¥78,000	¥0
	78名						
	1回1,000円						
アロマテラピー講座	地域住民	¥21,600	¥4,200	¥17,400	¥0	¥21,600	¥0
	28名						
	1回600円						
そば打ち体験教室	地域住民	¥9,000	¥0	¥9,000	¥0	¥9,000	¥0
	10名						
	1回1,000円						
大人のDIY講座～輪車プ ランターをつくりましょう～	地域住民	¥20,000	¥10,000	¥10,000	¥10,000	¥10,000	¥0
	11名						
	1回1,500円						
日本の歌120選	地域住民	¥30,000	¥30,000	¥0	¥30,000	¥0	¥0
	230名						
	なし						
気軽にはじめるグループピア ノルッスン	地域住民	¥20,000	¥20,000	¥0	¥20,000	¥0	¥0
	26名						
	なし						
健康座談会	地域住民	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	9名						
	なし						
ケアプラザ祭 第15回地域 わくわくふれあいデー	地域住民	¥184,651	¥0	¥188,450	¥0	¥0	¥184,651
	550名						
	実費負担						
月一ウォーキング	高齢者	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	30名						
	なし						
介護者のつどい	高齢者	¥5,746	¥5,746	¥0	¥0	¥0	¥5,746
	20名						
	なし						
おれんじ倶楽部	高齢者	¥7,500	¥7,500	¥0	¥7,500	¥0	¥0
	20名						
	100円(共催先が徴収)						
健康チェック測定会	高齢者	¥500	¥500	¥0	¥0	¥0	¥500
	30名						
	なし						
まちづくり大作戦	地域住民	¥74,918	¥74,918	¥0	¥60,000	¥0	¥14,918
	50名						
	なし						
体の体操で認知症予防講座	高齢者	¥148,456	¥148,456	¥0	¥146,432	¥1,088	¥936
	128名						
	なし						



## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
保木太極拳教室	高齢者	¥4,000	¥4,000	¥0	¥4,000	¥0	¥0
	47名						
	なし						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市美しが丘地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌謡の会	概ね60歳以上の方を対象にした健康促進事業。アコーディオンの演奏に合わせて参加者の発声を促し、途中、軽体操も実施した。	概ね毎月第3火曜日 10:00~12:00 年間10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
いぶき書写の会	概ね60歳以上の方を対象とした文化活動として開催。写経を通じて集中力を養い、指先の作業をもって認知症予防の効果を期待。	概ね毎月第1・3 (木) 13:00~15:00 年間22回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
楽画記帳	概ね60歳以上の方を対象とした絵画教室。平成28年12月から自主サークル化した。	毎月第3 (金) 14:00~16:00 年間7回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
音にふれて楽しむ 大人のミュージックセラピー	認知症予防の一環として、65歳以上の方を対象にした音楽療法プログラムを実施。季節の歌や発声を促す歌唱活動、・身体、また手先の運動、楽器を使った活動等で楽しく関わっていただいた。	奇数月第4 (月) 13:30~15:00 年間5回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
声に出して読みたい本講座	山内図書館協働、ビブリオバトル (知的書評合戦) や昔と今の教科書読み比べ、朗読大会を通して本にふれあうプログラムを実施した。平成28年10月より自主サークル化した。	7月~9月 (水) 13:30~15:00 年間3回

# 平成28年度 自主事業報告書

	に。	
--	----	--

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
大場・美しが丘・たまプラザCP・区社協・山内地区センター共催事業 昔あそびで脳活！	山内地区センターとの協働による地域交流事業。参加者に軽運動と回想法を取り入れた昔あそびを提供することで、脳の活性化を促進し、認知症予防を謳ったプログラムを行った。地域包括支援センター（地域ケアプラザ）のPRを行いながら、周知を図る機会とした。	6/10（金） 13:30～15:30 年間1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で3B体操	未就学児とその保護者を対象にした親子のふれあい体操教室。地域の子育て世代を支援する事業として前期8回、中期7回、後期6回のコースで実施した。	概ね第1・3木曜日 10:30～11:30 年間 計21回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子ひろば&ベビーマッサージ	地域の月齢児を抱えるママ・パパを対象にした事業。ベビーマッサージで夜泣き緩和や健康な身体作りを提案し、マッサージの練習の他に、手遊びやふれあい遊びも提供した。	暦上の（月・祝） 10:30～12:00 年間3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で水あそび	毎年夏季の恒例、子育て世帯を対象とした水遊びイベントを開催した。田園調布学園大学学生にもボランティア参加していただいた。	8/7（日） 10:30～13:30 年間1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で参加！ 記念日プレゼント作り	地域の親子を対象にした記念日プレゼント作りの機会を提供。父の日は家族の箸作りのプログラム、ハロウィーンとクリスマス時期はフラワーアレンジメントで実施した。母の日のプログラムは参加申し込みがなかったため中止した。	6/18（土） 9/19（月・祝） 12/17（土） 10:00～12:00 年間3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子料理教室	地域の親子を対象にした料理教室を開催した。9月はパン作り、12月はクリスマスケーキ作りを行い、家族のふれあいを図る機会とした。	9/22（木） 12/11（日）

# 平成28年度 自主事業報告書

税」竹桂秋生	ン、12月はソソハ、ハバソ、ハトソを11月、各版ソソハのソ機会を提供した。	10：00～12：00 年間 計2回
--------	---------------------------------------	-----------------------

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
田園調布学園大学 主催 第12回 子どもが作る町 ミニたまゆり 2017	田園調布学園大学の主催で毎年開催されている職業体験型アトラクション『子どもがつくる町 ミニたまゆり』に参画し、福祉センターブースを担当することによって、地域の子どもたち、当大学の学生、関係機関と関わりながら、福祉保健施設の周知理解を得た。	2/11 (土) 2/12 (日) 10：00～16：00 年間2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て山内ひろば出張カフェ	美しが丘西保木自治会館で活動されている『子育て 山内ひろば』の後方支援の一環で、当ケアプラザが出張カフェを催した。	5月、7月、9月、11月 奇数月第4 (木) 10：30～12：00 年間4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
陽だまりカフェコンサート	定期的に開催するコミュニティーカフェ形式の音楽コンサート。多世代の地域住民が交流できる機会とした。	4月～11月 概ね第2 (日) 13：00～15：00 年間5回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
美しが丘アフタヌーンコンサート	陽だまりカフェコンサートの後継事業として、音楽演奏部分を独立させ、コンサートとして地域住民に参加していただき、ケアプラザに足を運んでいただく機会とした。	3/5 (日) 13：30～15：00 年間1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
Buon Viaggio (ブオン ヴィアッジオ) 料理で旅するイタリア～ローマ・フィレンツェ・ミラノ	平成26～27年度に開催したイタリア料理講座の展開型として、多世代交流とケアプラザへの来所機会と位置付けて開催した。次年度から自主サークル化して活動予定。	4月～12月 第3 (土) 10：00～13：00 3回コース×3クラス 計9回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
アロマセラピー講座	多世代を対象とし、アロマのもたらすリラックス効果でストレスを抱えている方の癒しの機会を提供した。	4月～1月 概ね (水) 10：30～11：30

# 平成28年度 自主事業報告書

		年間4回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
そば打ち体験教室	ケアプラザを訪れたことのない地域住民向けの趣味的事業を開催して、ケアプラザを訪れるきっかけを提供した。	6/30（木） 10：00～13：00 年間1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
大人のDIY講座～一輪車プランターをつくりましょう～	地域住民を対象にした木工作業で花車（プランター）を製作していただくプログラムを提供した。	4/30（土） 5/31（火） 10：00～12：00 2回×1クラス 計2回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
日本の歌120選	平成27年度に実施した「日本の歌百選」の継続事業として開催。28年度は120曲を年間5回に分けて実施し、プログラムの構成、当日の進行を音楽講師氏に委託し開催した。	4月～2月 概ね第4（月） 13：30～15：00 年間5回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
気軽にはじめるグループピアノレッスン	地域住民を対象にしたピアノグループレッスンプログラムを提供。お仲間づくりや趣味探しの提案を行いながら、ケアプラザに来所していただく機会とした。全4回講座で実施。継続希望者によってサークル化した。	4月～5月 概ね第1・3（水） 13：00～14：30 4回×1クラス 計4回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康座談会	当ケアプラザ協力医協力のもと、地域住民を対象とした“健康座談会”を開催した。テーマは『家族が気づく認知症』で参加者とざっくばらんに話し合っていた。	7/27（水） 13：30～14：30 年間1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアプラザ祭第15回地域わくわくふれあいデー	毎年恒例の当ケアプラザイベント。地域住民との交流機会として、当ケアプラザのPR機会と捉えて実施した。	11/27（日） 10：00～14：30 年間1回

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
月一ウォーキング	<p>【目的】 地域住民がウォーキングを通して、歩行機能の維持向上、認知症予防につなげる。</p> <p>【内容】 たまプラーザ地域ケアプラザと美しが丘地域ケアプラザを拠点とし、四季折々の自然を楽しみながら近隣をウォーキングを行った。 たまプラーザ地域ケアプラザと共催</p>	毎月第1金曜日 10:00~12:00 年間11回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	・情報交換や介護に関する学習会を開催。介護者同士の交流を図り、リフレッシュできる時間を提供した。	6/22・9/28・1/25 13:30~15:00 年間3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おれんじ倶楽部	認知症の方や家族が気軽に立ち寄り、情報交換やリフレッシュできる場の提供。 地域の方たちや専門職の人たちとの交流を通して、認知症の方を地域で見守る意識を高めることができた。	毎月第4火曜日 14:00~16:00 年間12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康チェック測定会	身長、体重、10M障害歩行、前屈等の測定を実施。 定期的な開催により、自分自身の体力を知ることによって介護予防につなげていただく。また、開催には保健活動推進委員の方の協力を得ており、連携強化につなげていく。	年2回 5月 11月

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
まちづくり大作戦	<p>【目的】 認知症の人と家族が暮らしやすいまちづくりを目指し、認知症の理解を深め、サポーター活動につなげる。</p> <p>【内容】 認知症勉強会・グループ討議</p>	第2水曜日（全8回） 13:30~15:30

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
脳&体の体操で認知症予防	<p>【目的】 運動と脳トレを同時に行うことで、ロコモ予防と認知症予防</p> <p>【内容】 全8回コースで開催。仲間と一緒に楽しみながらコグニサイズを実施。併せて口腔ケア講座と栄養講座も盛り込んだ。</p>	5/10. 6/14. 7/12. 8/30. 9/13. 10/11. 11/29. 12/13の全8回

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
保木けんこう太極拳教室	【目的】 元気づくりステーション活動に向けた教室 【内容】 地域講師の指導にて太極拳教室を実施。元気づくりステーションに向けての準備段階としての活動を行った。	4/1. 4/15. 5/20の3回